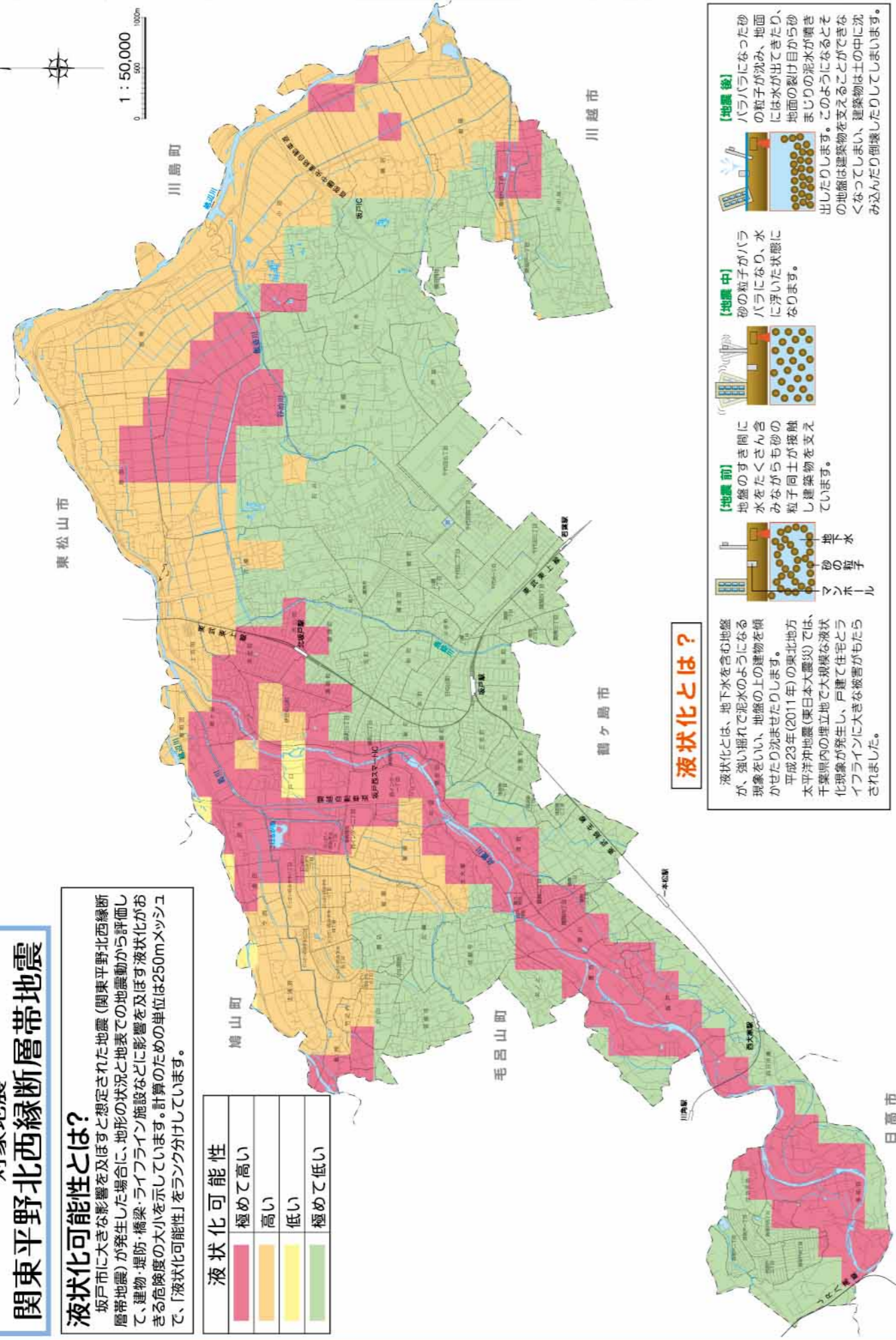


## 対象地震 関東平野北西縁断層帯地震

### 液状化可能性とは?

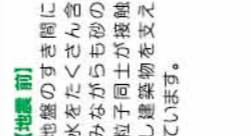
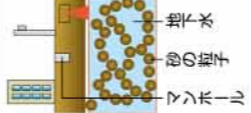
坂戸市に大きな影響を及ぼすと想定された地震(関東平野北西縁断層帯地震)が発生した場合に、地形の状況と地表での地震動から評価して、建物・堤防・橋梁・ライフライン施設などに影響を及ぼす液状化がおよむ危険度の大小を示しています。計算のための単位は250mメッシュで、「液状化可能性」をランク分けしています。

液状化可能性	
	極めて高い
	高い
	低い
	極めて低い



### 液状化とは?

液状化とは、地下水を含む地盤が、強い揺れで泥水のようになる現象をいい、地盤の上の建物を傾かせたり沈ませたりします。平成23年(2011年)の東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)では、千葉県内の埋立地で大規模な液状化現象が発生し、戸建て住宅とラィフラインに大きな被害がもたらされました。



【地震前】地盤のすき間に水をたくさん含みながら砂の粒子同士が接触し建築物を支えています。

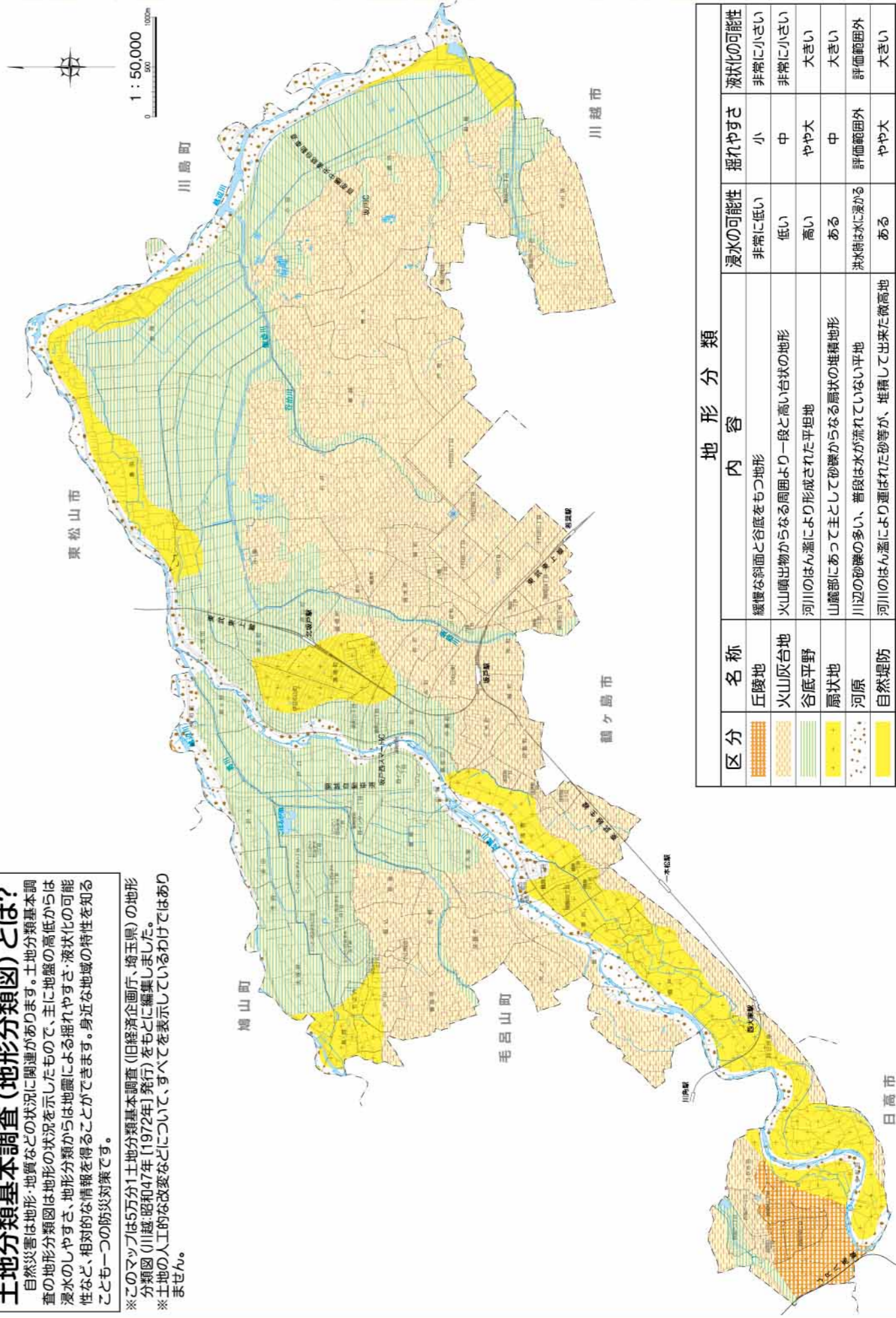
【地震中】砂の粒子がバラバラになり、水に浮いた状態になります。

【地震後】バラバラになった砂の粒子が沈み、地面には水が出てきたり、地面の裂け目から砂まじりの泥水が噴き出したりします。このようになるとその地盤は建築物を支えることができなくなり、建物は土の中に沈み込んで倒壊したりしてしまいます。

### 土地分類基本調査(地形分類図)とは?

自然災害は地形・地質などの状況に関連があります。土地分類基本調査の地形分類図は地形の状況を示したもので、主に地盤の高低からの浸水のしやすさ、地形分類からは地震による揺れやすさ・液状化の可能性など、相対的な情報を得ることができます。身近な地域の特性を知ること一つ一つの防災対策です。

※このマップは5万分1土地分類基本調査(旧経済企画庁、埼玉県)の地形分類図(川越昭和47年[1972年]発行)をもとに編集しました。  
※土地の人工的な変更などについて、すべてを表示しているわけではありません。



地形分類					
区分	名称	内容	浸水の可能性	揺れやすさ	液状化の可能性
	丘陵地	緩やかな斜面と谷底をもつ地形	非常に低い	小	非常に小さい
	火山灰台地	火山噴出物からなる周囲より一段と高い台状の地形	低い	中	非常に小さい
	谷底平野	河川のはん濫により形成された平坦地	高い	やや大	大きい
	扇状地	山麓部にあつて主として砂礫からなる扇状の堆積地形	ある	中	大きい
	河原	川辺の砂礫の多い、普段は水が流れていない平地	洪水時は水に浸かる	評価範囲外	評価範囲外
	自然堤防	河川のはん濫により運ばれた砂等が、堆積して出来た微高地	ある	やや大	大きい